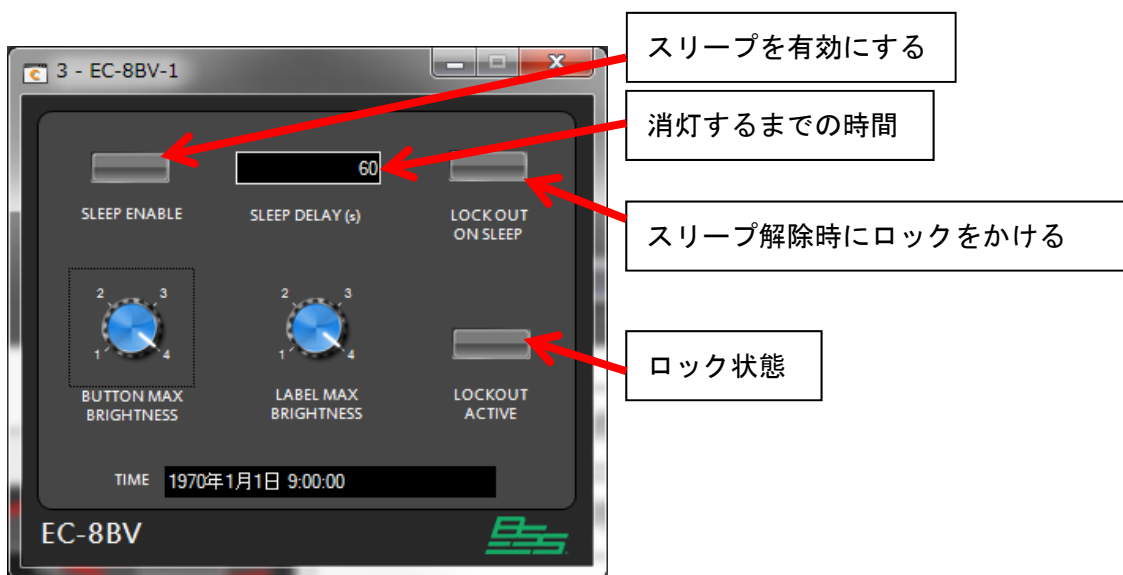
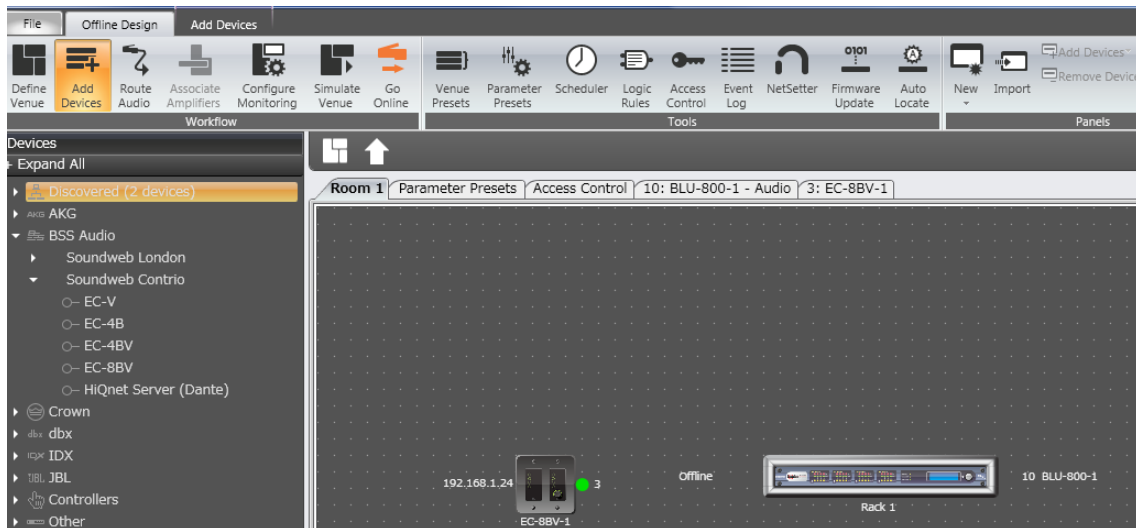


BSS Soundweb Contrio EC-8BV Eight Zone の使い方

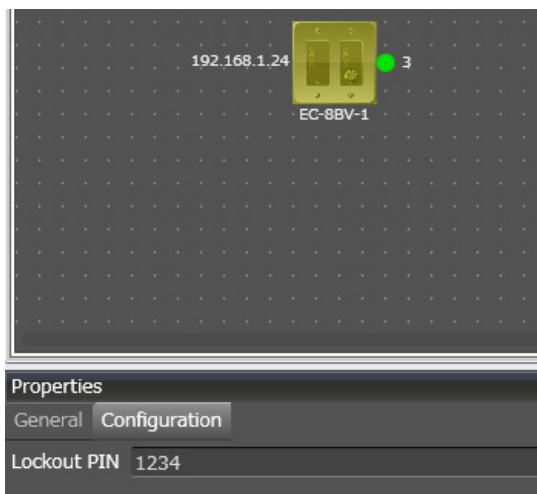
**** このコントローラは電源として POE が必要となります ****

MAC ADDRESS	DHCP / AUTO-IP	IP ADDRESS	SUBNET MASK	DEFAULT GATEWAY	DEVICE ID	RANDOM ID REROOT	STATUS	DEVICE TYPE	DEVICE NAME	CONTAINER POSITION	LOCATE
00-0F-D4-06-DA-0E	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.1.24	255.255.255.0	0.0.0.0	3	<input type="checkbox"/>	Discovered	Contrio Wall Controller EC-8BV	EC-8BV-1		
F0-1F-AF-4D-0D-0C	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.1.23	255.255.255.0	192.168.1.1	58459	<input type="checkbox"/>	Discovered	Audio Architect	HBN3074		
00-0F-D4-00-22-C6	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.1.22	255.255.255.0	192.168.1.1	10	<input type="checkbox"/>	Discovered	Soundweb London BLU-800	BLU-800-1		

このコントローラは Ethernet 接続するので、NetSetter 上で接続確認ができていることを確認します。



コントローラを選択し、下部に表示されるプロパティ画面でロック解除パスワードを入力します。デフォルトでは「1234」です



【 このコントローラには、動作モードが、以下の5パターンあります 】

●Single Zone

Zone は1つ、Parameter / Preset Buttons は8つと Encoder です。

●Four Zone

Zone は4つ、Zone 毎に Parameter / Preset Buttons は4つと Encoder です。

●Eight Zone

Zone は8つ、Parameter / Preset Buttons はなく Encoder だけです。

●Four by Four

Zone は4つあり、選択した Zone 内の個別なパラメーターを4つ (SubZone 1~4) を Encoder で操作することが出来ます。

●Hybrid

Button1~4 への割り当ては「Four Zone」「Four by Four」どちらかを選択。

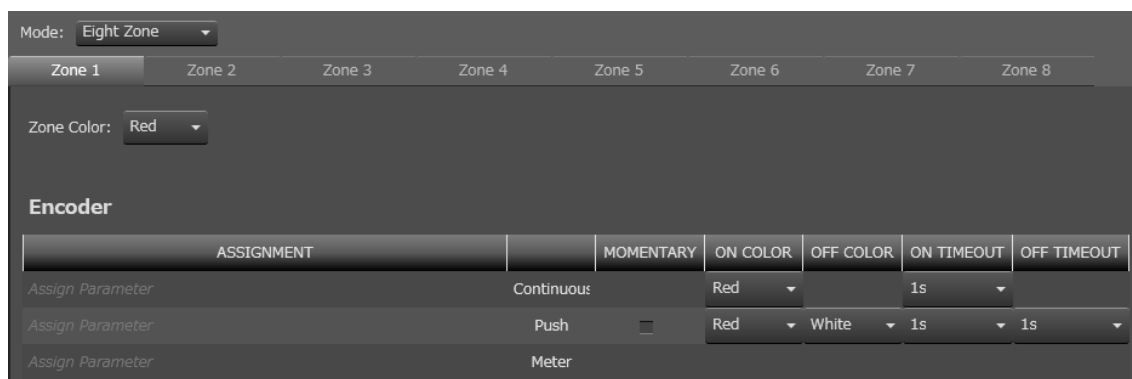
[Four Zone]

Button1~4 で Zone 選択し、右のボタン (5~8) で、4つの Parameter / Preset Buttons と Encoder を個別に割り当てることが出来ます。

[Four by Four]

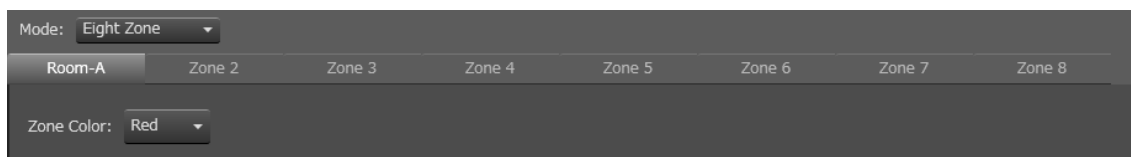
Button1~4 で Zone 選択し、右のボタン (5~8) で、選択した Zone 内の個別なパラメーターを4つ (SubZone 1~4) として Encoder で操作することが出来ます。

例えば、8つのゾーン（部屋やフロア分け）を想定した時、例えばゾーンごとにマイクの音量などを調整したい時などに Eight Zone を選択します。

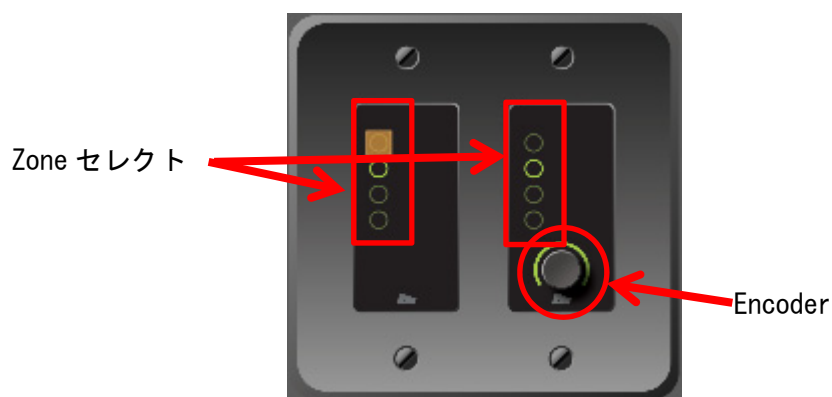


- 本体ボタン 4+4 (Zone セレクト)
 - ・ゾーンを 8 つアサイン出来ます。
- 本体エンコーダー
 - ・ゾーン毎にパラメーターを 1 つアサイン出来ます。
(8 ゾーン x1 エンコーダー=8 パラメーター)

●Zone 名の変更



タブの表示部をダブルクリックし名称の変更が出来ます。日本語不可。半角英数8文字程度が良い。



Zone1~8 ごとに、Encoder へアサインすることが出来ます。

●各パラメーターのコントローラへのアサイン方法



【 Parameter / Preset Buttons 】

●ASSIGNMENT

アサインしているものが表示されます。
Venue からアサインしたいものをドラッグしてきます。

ボタン押下時の状態移換です。

・ 通常

(例) Unmuted→Muted へ

・ INVERSE

(例) Muted→Unmuted へ

・ MOMENTARY

(例) Muted→押している間→Unmuted

●ON COLOR

押下した時のボタン色

●OFF COLOR

非セレクト時のボタン色

●LABEL

通常、オブジェクトからの入力名がそのままパネルに表示されますが、それとは別に指定したい場合、入力します。

例) オブジェクト入力が「INPUT-1」となっている場合、パネルに「MIC」としたい場合に、LABEL へ「MIC」を入力します。

●LABEL COLOR

パネルに表示される文字色を指定します。日本語不可。半角英数 8 文字程度が良い。

●INPUT VALUE

ソースセレクターを使用している場合、どのソース（入力番号）がアサインされているのかが見える。ボタンを押したときにどのソースを使うかを決めます。ソースに指定できるのは1つだけです。ソースを複数設定したい場合は、複数アサインしなければなりません。また、LABEL も同時に設定しておかないと、「Unspecified」と表示されます。

【 Encoder 】

●ASSIGNMENT

アサインしているものが表示されます。Venue からアサインしたいものをドラッグしてきます。エンコーダーには、3つの機能を割り当てることが出来ます。

① Continuous

ゲインのようなリニアに上げ下げするようなものをアサインします。
そのためセレクターを割り当てることは出来ません。

- ・ ON COLOR

動かしている時の色です。

- ・ ON TIMEOUT

自動的に消灯するまでの時間です。

② Push

エンコーダーを押下した時の動作です。プリセットなどはリコール出来ません。

- ・ MOMENTARY

(例) Muted→押している間→Unmuted
となります。

- ・ ON COLOR

押下 (ON) 時の色です。

- ・ OFF COLOR

押下 (OFF) 時の色です。

- ・ ON TIMEOUT

ON にしたときに自動的に消灯するまでの時間です。

- ・ OFF TIMEOUT

OFF にしたときに自動的に消灯するまでの時間です。

③ Meter

入力メータなどもアサイン出来ますが、通常はエンコーダーの値を表示させます。